

講演会とシンポジウム

講演会「発達障害の理解と感覚統合」

講師：帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科 石井孝弘

シンポジウム

「特別支援教育に私たちができること-うま(乗馬)の可能性を通して-」

日程：講演会 10月9日（日）10:00～12:00

シンポジウム 10月9日（日）13:00～15:30

会場：帝京科学大学 本館棟 4階 405教室

JR中央線 上野原駅下車 バス利用 当日は臨時バス運行予定です。大学ホームページにてご確認ください。

<http://www.ntu.ac.jp/>

参加費：無 料

講演会：

発達障害のお子さんの行動理解について、感覚統合の視点からお話します。保育園、幼稚園、小学校などで子供たちが生きやすくなるにはどのような考え方やかわりが良いのかがご理解いただければと思います。

シンポジウム

【司会】

小川 家資 氏（アニマルサイエンス学科 教授）

【報告者】

*三尾 真琴 氏（総合教育センター 教授） 13:10～

「高等学校における特別支援教育の取り組みの遅れを指摘し、「不登校」「うつ病」などの二次障害を回避するための対策を報告します」

*近藤 知子 氏（作業療法学科長 教授） 13:40～

「障害が起きた際の、あるいは、健康の回復・維持促進における作業療法の役割とAARとの連携について報告します」

*石井 孝弘 氏（作業療法学科 教授） 14:00～

「動物を介したリハビリテーションとは何か、人の障害とどのように結びつき、どのような治療手段を用い、どのように実践するのかを報告します」

*滝坂 信一 氏（アニマルサイエンス学科 教授） 14:30～

「馬をパートナーに行う『障害のある子どもの教育』、『心理臨床』の特徴や実施上の配慮そしてその場に起こる様々な豊饒について、これまでの経験から話題提供したいと思います」